

平成21年度

特集 学校保健と連携Ⅲ**みんなの力を合わせた、安心安全なまちづくり**鶴ヶ島市地域ぐるみの学校安全体制整備推進委員会
鶴ヶ島市教育委員会**1. 鶴ヶ島市の概要**

鶴ヶ島市は、埼玉県のほぼ中央に位置し、都市化地域と農村地域とが混在し、自然の多く残る緑ゆたかな市です。人口増加に伴い、平成3年に市制を施行しました。人口は、約7万人、学校数は、

小学校8校、中学校5校の計13校です。スクールガードリーダーは、市内に1名配置。スクールガードは市内8小学校それぞれの学校区ごとに組織しています。

2. 「地域ぐるみの学校安全体制整備推進委員会」の設置と「子どもを守る防犯体制」の整備

この事業では、地域ボランティアを活用するなど、地域全体で学校安全に取り組む体制を整備し、児童生徒の防犯意識を向上させ、保護者・地域住民が一体となった防犯活動を推進します。この事業の円滑な実施を図るため、「推進委員会」を設置しました。推進委員会は、西入間警察署、PTA連合会代表、青少年健全育成推進協議会代表、校長会代表、スクールガード・リーダー、鶴ヶ島市安心安全推進課、市政情報課、鶴ヶ島市教育委員

会で構成しました。推進委員会を組織することで、学校安全体制の整備推進が図られ、関係機関が連携した「子どもを見守る防犯体制」が推進されました。

**3. 実践の概要****(1) 関係機関との連携強化を目指した講習会と講演会の実施**

「子どもを犯罪から守るために」と題し、千葉大学名誉教授の中村攻先生を講師に、3回の連続講演を開催しました。講演にはPTAやスクールガードをはじめ地域で子どもたちの見守り活動をしている方々に参加を呼びかけ実施しました。参加者からは「子どもを犯罪から守るには、何よりも地域の力が必要である。そのためにも、今日のような講演会やPTA活動に参加して、意識を高める事が大事だと思いました。考えるきっかけになりました。」との声が多く、地域連携や防犯意識の高揚に効果ある講演となりました。

(2) 防犯講習会の実施

不審者から児童生徒の安全を確保するために活動されている方々を対象に、西入間警察署生活安全課の署員を指導者に招き、防犯講習会を実施しました。防犯活動の知識・技能の習得だけでなく、

さまざまな立場で防犯活動をしている方々の交流（連携・協力）の場となりました。

(3) 「安全安心標語を入れた防犯看板」の作成と設置

市内の児童生徒や市民の方に標語を募集し、応募いただいた作品の中から、80種類（小学校48種類・中学校30種類・一般2種類）を入選とし、その標語を活用した「防犯看板」を作成しました。

(4) メール配信サービス

市のホームページに掲載している情報をパソコンだけではなく、携帯からも閲覧できるように立ち上げた携帯サイトをリニューアルしました。担当する市政情報課と学校教育課が連携し、防犯情報をメールで随時配信しています。情報は、登録をしたスクールガードの方をはじめ地域の方々に最新の情報として発信され、活用されています。

(5) 防災無線による下校放送

毎週火曜日と木曜日、小学生の下校時間にあわ



完成した防犯看板は小学校や中学校、公民館など市内に掲示しています

せて市内放送を行っています。

(6) 青色防犯パトロール車

鶴ヶ島市では、青色回転灯を整備した自動車で、通学路などのパトロールを、毎週月曜日・水曜日・金曜日に行っています。不審者情報があった場合

は、臨時に市内をパトロールします。

(7) 防犯リーフレット

広報啓発活動として「防犯リーフレット」を作成し、市内全小・中学生の各家庭等地域に配布し、防犯に対する啓発を図りました。

4. 成果と課題

- ・推進委員会の設置や各種取組において、関係機関等に協力を得ながら組織的に進めた事により、協力・協働体制を築くことができました。
- ・スクールガードの積極的な活動により、子どもたちや地域にスクールガード活動が認識され効果を上げてきています。また、児童生徒、保護者、地域住民の防犯意識の向上が図られ、児童生徒

- の登下校の不審者情報も減ってきています。
- ・スクールガード等による子どもたちの見守り活動は、各学校ごとに推進されてきました。今後も学校間の情報連携の充実を図り、子どもたちの安全安心を鶴ヶ島市みんなの力（地域ぐるみ）で守る体制のさらなる整備・充実を図っていきます。



小学校高学年の女の子対象

「わたしたちのカラダと下着のはなし」さしあげます。

ワコールでは小学4年生～中学2年生の女の子と、その保護者の方を対象に「ツボミスクール」という下着教室を開催しています。

『Girl's note わたしたちのカラダと下着のはなし』は、そこでお話している内容をまとめた小冊子。体型変化や下着に関する情報を提供させていただいていますので、初経指導や二次性徴等の指導時に是非お役立てください。

教材用下着サンプルセットの貸出しについてもご相談ください。

お申込みはこちらへ www.wacoal.jp/company/tsubomi/

《お問い合わせ先》ツボミスクール運営事務局「Girl's note」係 フリーダイヤル 0120-203-248 (営業時間 平日 9:30～17:30)




シリーズ 20

「健康教育をささえる」～養護教諭の現場から～

群馬県養護教諭会の取組

1. はじめに

この4月からスタートした「学校保健安全法」の中で、養護教諭は、「学校保健活動の推進に当たって中核的な役割を果たす」との提言があり、養護教諭への期待感を感じるとともに、私たち一人ひとりが職務の重要性を改めて考えて行くことが必要なことだと思います。今、養護教諭は、健康教育を推進する実践者としての役割が強く求められています。

そのために、専門職として研鑽を積み、子どもたちの健康課題に迅速に適切に対応できるような力量を高めていくことが、ますます必要不可欠になってきています。

本会においては、その研鑽の場として、県内の養護教諭が一堂に集まり校種別研修会を毎年実施してきました。この校種別研修会が今年で30年の節目を迎えました。そのため、この会をより有意義な、そして、時代のニーズに即した研修会とするために、3年前から研修検討委員会を立ち上げて研修のあり方等についてアンケート等を実施し、多くの会員の声を反映しながら協議を重ねて来ました。

その結果、従来の校種別での実践発表の他に隔年で健康推進学校の実践紹介、教育センターにおける長期研修員の研究発表を行うこと、10年に一度は記念的な行事とするなどの研修の方向性が決まりました。

今年度については、30回を記念し県教育委員会委員長より、「群馬の養護教諭に熱いエール」を頂き、講演では、今回の学校保健安全法のキーワードの一つである「連携」を取り上げ、「保護者とのよいかかわり・連携づくり」について学びました。そして、会員一人ひとりのニーズにあった研修が出来るように選択制のセミナーを実施しました(次頁参照)。

2. 今年度の研修報告

記念講演

「子ども・親・教師がかがやくために」

講師 群馬県教育委員会委員長 杉原 みち子

この記念講演で杉原さんから、「養護教諭の仕事は



ゲームを取り入れた研修で楽しく学びました

本当に素晴らしいと思っている」「保健室は子どもたちに安らぎを与えることのできる貴重な場。そこで、支えられた子どもたちはたくさんいる」「これからも心身ともに元気な子どもたちを育てるために、ぜひ力を発揮してほしい」等の私たちへの熱いエールを頂き、勇気がわいてくるお話を伺うことができました。

記念講演

「学校と保護者のいい関係づくり」

～学校へのイチャモン(無理難題要求)のウラにあるもの～

講師 大阪大学大学院 教授 小野田 正利

学校保健安全法のキーワードの一つとなっている「連携」に視点をあてた講演会では、保護者との関係づくりについて、たくさんの事例から具体的に学ぶ事ができました。「子どもの健やかな成長を願う気持ちは親も教師もまったく同じであること」「親の立場・教師の立場、その内にある気持ちのズレに気づき、つながりあっていくこと」の大切さを感じました。保護者との関係づくりに多くのヒントがいただけました。

3. 終わりに

今回初めての試みとして、会員の希望する内容で受講できる参加型のセミナー形式を取り入れました。研

修了後の会員へのアンケート結果では9割以上が「満足できた」との回答でした。

本会は今後も子どもたちの健康課題解決のために専

門性がより高められるような研鑽の場を旨として取り組んで行きたいと思います。

班別セミナー

子どもたちへの支援や指導に会員が「必要だ」「生かしたい」という内容で受講できるよう選択制としました。

学校事故とその対応

～実例から学ぶリスク・マネジメント～

講師 群馬大学教育学部教授
入澤 充

事故発生、その対応方法に間違いはなかったか、法的に責任を問われる場合は？多くの実例から、そして演習を取り入れ具体的に学ぶことができました。

保健室コーチング

～ゲームとワークを取り入れて～

講師 名古屋NLP教育センター
桑原 規歌

養護教諭の独自性・専門性を生かし、脳科学・認知科学・心理学の視点を取り入れたコミュニケーション技術をゲームや演習などから学ぶことができました。

パペットセラピー

～パペットを活用しての発達障害の子どもたちへの関わり方～

講師 日本パペットセラピー学会理事長
原 美智子

発話機能を持つパペット（腹話術人形）を介させてコミュニケーションをとることにより、相手の心身に好ましい効果をもたらす療法です。パペットづくりも行いながら子どもたちの様々な支援の方法や活用について学ぶことができました。

性教育から生教育へ

～WYSH教育の取り組みから～

講師 安芸高田市立美土里小学校
養護教諭 巢守 章江

これまでの性教育の概念を超えた、生き方教育として、今注目を集めているWYSH教育。実践するためには、どのように、何を準備し何から取り組めばよいのか？実践のヒントをたくさん頂き、これから取り組みたいとの会員の声が多数ありました。

保健体育科教諭・養護教諭等の方々を対象

参加者募集！「医薬品に関する教育」保健教育指導者研修会

本年度、第3回、第4回の研修会を開催します。

【名古屋開催】日時：平成21年12月28日（月） 場所：名古屋国際センター（名古屋市中村区）

【福岡開催】日時：平成22年1月14日（木） 場所：アクロス福岡 国際会議場（福岡市中央区）

【詳細・お申込】学校保健ポータルサイト等で申込FAX用紙を入手、「医薬品に関する教育」保健教育指導者研修会事務局へ送信ください。

主催：財団法人日本学校保健会 共催：くすりの適正使用協議会

参加
無料

告知 平成21年度「学校保健用品・図書等推薦」追加

| No. | 品 目 | 摘 要 | 会 社 名 |
|-----|-------------------------|--|------------------|
| 41 | ピオレu 泡で出てくるハンドソープ | 手指の殺菌、洗浄。きめ細やかな泡で子どもでも洗いやすい | 花王株式会社 |
| 42 | たのむぞ！がんばれ！騎士リ・ ツールくん | きむらゆういち作の絵本。むし歯予防について楽しく学べる物語になっている（非売品） | 日本フィンランドむし歯予防研究会 |

大阪府における 新型インフルエンザの対応

大阪府教育委員会事務局教育振興室
副理事兼保健体育課長 中尾 俊治

はじめに

本年4月にメキシコに端を発した新型インフルエンザ(A/H1N1)は、当初致死率の高い「強毒型」という想定のもと、わが国においても水際対策に力点が置かれた。

しかしながら、世界的な大流行とともに、その症状や感染力、病原性、潜伏期間などの特徴から「弱毒型」という知見が徐々に明らかとなり、わが国も弾力的、機動的、柔軟な対応に舵が切られていった。その中で大阪府教委は三つ局面において対応を行った。

成田空港での国内初感染確認

5月8日夕刻、成田空港において、カナダへの短期留学から帰国した府立3高校の生徒30名、引率教員6名のうち、生徒2名と教員1名の感染が疑われ、翌日確定することとなる。

検疫法により感染者は隔離治療、同行者は10日間の停留措置がとられ、その後生徒1名の感染が確認され隔離者は計4名となる。

それまでわが国では、「感染疑い」が十例報告されていたが、遺伝子検査により確定しなかったことから、このケースが『国内初感染』と大きく報じられた。ただ、入国前であったことから、政府の行動計画は第二段階(国内発生期)には移行しないことが示された。

府教委の主な対応は、次のとおり

- ・ 停留生徒等の健康状態把握と帰阪支援
- ・ 厚労省対策本部との連絡調整
- ・ 報道機関への情報提供、人権上の配慮要請
- ・ 風評、誹謗中傷、苦情に対する対応
- ・ 知事、教育委員長、教育長の激励メッセージ
- ・ 厚労大臣に対する知事の緊急要望

第二段階(国内発生早期)

5月15日停留が7日間に短縮され、第一陣が帰阪した

翌16日、海外渡航歴がない神戸市内高校生の感染が確認され、翌17日には府内私立高校生の集団感染が確認された。

『学校休業』に関する対応は次のとおり。

- ・ 文部科学省の事務連絡などを踏まえ学校休業の基準を検討していたが、この国内発生を受けて保健部局と最終的な調整を行う。
- ・ 5月17日午後、府対策本部会議において休業基準を『患者住所地と学校所在地の市町村』とするが、その後患者が増え5月18日未明、知事が厚労大臣との協議を踏まえ『府内すべての中学校、高等学校を臨時休業』とした。
- ・ 5月19日府健康医療部長から厚労省健康局長あてに学校再開に向けた要請を行う。
- ・ 5月20日付の政府「基本的対処方針」及び厚労省「運用指針」の改定を受け、新たな学校休業の基準を保健部局や関係機関と協議し『患者複数で学級休業、複数学級で学年休業、複数学年で学校休業、休業期間は7日間』とし通知した。

第二波に向けた休業基準とマニュアル作成

5月の一斉休校後、感染が一旦終息しかけ次の流行は秋冬との観測もあったが、徐々に感染が広がり6月22日以降児童生徒の感染が確認されるようになった。

その後、夏季休業にかけて新たな休業基準による学校休業や部活動等の活動自粛が増え続け、8月には日本国内において感染が急速に広がり、まさに第二波の様相を帯びつつあった。

このような中、国の動向や最新の知見をもとに私立学校所管課や政令市教育委員会とも連携し5月以降の休業基準を見直し、8月20日『在籍者の10～15%、5人程度で学級休業、休業期間は4日間程度』とし通知した。その際、基礎疾患などによる重症化への警戒として『支援学校、小学校低学年等においては、患者発生を確認した段階で学級休業を検討する。』とした。

8月31日には学校と教育委員会、関係機関が一体となって感染拡大を最小限に抑えるため、強毒型、弱毒型を想定した『新型インフルエンザ対応マニュアル』(第一版)を作成し、学校と市町村教委に周知した。

世界的なまん延状況を示す「フェーズ6」をWHOが宣言(6月12日)してからも感染の勢いが弱まらない。今後の予測が極めて難しい状況であるが、関係機関と連携し臨機応変な対応に努めたい。



学校の運動器疾患・障害に対する取り組みの手引き

子どもの運動器に関するケガや故障のほか、トレーニング方法、注意点など満載
発行/財日本学校保健会 監修/「運動器の10年」日本委員会
価格: 500円(送料別・税込)

平成21年度版学校保健の動向 **健康管理・健康教育に必携!**
特集: 学校保健安全法 施行規則の解説、学校でのパンデミック対策

発行/財日本学校保健会
価格: 3000円(送料・税込)

アジアの子どもの健康について！

第5回 学校歯科保健アジア会議報告

(社)日本学校歯科医会常務理事 赤井 淳二

日本における学校保健活動は保健教育・保健管理の調和を軸に組織活動として順調な発展を遂げているが、いざ世界に目を向けてみると医療ですら俵ならない開発途上国が多く存在していることも忘れて



てはならない。学校教育ですら満足に受けられない子どもたちや、劣悪な公衆衛生環境で疾病の発生を防ぎきれない

社会環境では、学校保健といった御旗はなかなか日の目を見ない。しかしながら、そういった国でも子どもたちが自律をし自らの健康を自らが守るといういわゆる生きる力をはぐくむことは必要不可欠なことであり、私たちは歯科保健といった切り口からアジアの各国・各地域に日本の学校歯科保健の現状についての情報発信を行うとともに、過去4回にわたる大会宣言のなかでアジアの子どもたちの学校歯科保健に何が必要なのかを訴えてきた。

会場はタイ（プーケット）にて開催され、参加国も年々増加し今回は24ヶ国、参加人数は約500名の大きな大会に成長した。カンントリーレポートでは日本、韓国、マレーシア、ネパール、中国、タイ、インドネシア、カンボジア、ブータンそしてバングラディッシュの各国より自国の歯科保健事情や学校歯科保健の取り組みなどが報告された。日本や韓国などでは学校の保健教育の中に歯科保健が位置づけられ、地域を含めた組織活動も活発に行われている国がある一方、検診を中心とした保健管理が優先され、疾病の早期発見・早期治療に奔走しなければならない国々も多く見受けられた。様々な国の事情の中でやはり必要なのは国の施策であり、学校教育の中に学校保健が明確に謳われそれが実行されることであることを痛感した。講演の中にはWHOの調査員の報告もあり、

世界における歯科事情やヘルスプロモーションについての取り組みが報告されたのは参加者への大きな刺激にもなったようであった。

また、全体のプログラムの中に学校訪問が組み込まれ、3班に別れ地元の小学校を視察した。プックパンヤースクールは2003年タイ保健相より健康に関心を持つゴールドクラス的最優秀校として表彰を受けた幼稚園から高等学校に至る一貫校で、公立校ながらすばらしい設備と学習カリキュラムを実践している学校であった。タイ教育省の学習カリキュラムと「多元的知性の理論」と「脳に基づく学習」に準拠したこの学校独自の新しいカリキュラムを開発し、その考え方は子どもたちの道徳と楽しみと知性をはぐくむ計画に焦点を当てている。オーラルケア活動としてはブラッシング指導を中心に進められ、自立的な健康行動としてブラッシングが定着するよう、種々のコンテストや保護者面談を通じた啓発活動に特筆すべき点が見られた。子どもたちによるむし歯予防の寸劇やタイの伝統劇や舞踊などの披露があり、言葉を超えた子どもたちとのふれ合いの場ともなった。

3日間にわたる大会は記念講演や基調講演のほかに84のポスター発表がなされ、商業展示ではフッ素入りの牛乳が配布され話題となった。閉会に当たっては盛んな意見交換とともに今回も大会宣言が採択され、アジアの子どもたちのために我々は何をすべきかを再確認することとなった。次回の大会は2年後にベトナムにて行われることが承認され大会の幕を閉じた。

神奈川県立大和西高等学校に おける性（AIDS）教育

神奈川県立大和西高等学校

養護教諭 阿部真理子

1 はじめに

最近ではインターネットの出会い系サイト等での様々な性を巡る問題への様々な指摘がありますが、生徒との会話や中学校の先生方との情報交換などから、小・中学生の性に対するハードルの低さ、確かな知識や考えがないまま興味本位の行動だけが先行している様子を身近に知ることも多く、大きな危惧を抱いています。性行動の低年齢化に多くの問題が懸念されるこの現状に対し、改

めて学校における性教育を見直し、推進に向けて検討する必要性を感じています。本校は平成9年より人権教育を基盤とした性（AIDS）教育の取組をはじめました。平成10年度からは1年次の科目「保健」での集中学習を中心に据え、学校全体で取り組む性教育を目指し、試行錯誤を重ねながら現在に至っています。

2 大和西高校の性（AIDS）教育

<性（AIDS）教育の目標>

性の生物学的及び文化的、社会的意味を理解し適切な意思決定や行動選択ができる力や態度を培う。性感染症（含むHIV感染症）について正しい知識を新しい情報に基づいて理解させると共に感染予防能力や態度を育てる。また、HIV感染症がもたらしている社会問題や社会的な面からみた性の問題等に目を向け、偏見・差別等を払拭し主体的な判断と行動ができるようにする。

本校では性教育の一環として1年生の集中学習においてAIDS問題に取り組んでいます。図1の基本構想に示すように1年次の秋から冬にかけての時期に集中的に性（AIDS）についての基礎を固め、2年次にはより具体的に自分の問題として考え、判断、行動ができるようになることを目指した内容の学習をします。

具体的には表1の通り、1年生は本校独自のテキスト（大和西高校性・AIDS教育テキスト）を使用し、性（AIDS）教育集中学習「正しい知識の理

解、性行動及びそれに起因するリスク、リスクの回避、行動選択と責任等」をグループワーク中心

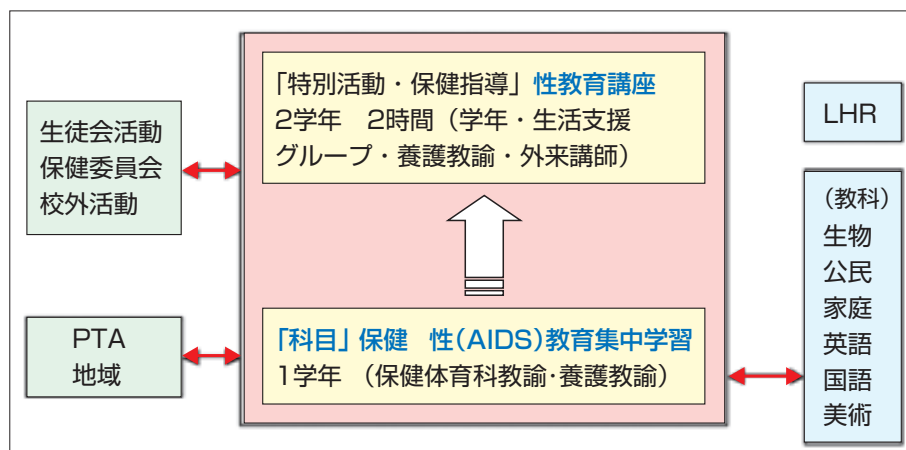


図1 大和西高校の性（AIDS）教育の基本構想

| 担当教科等 | 実施項目 | 内容等 |
|--------|--------------------|--------------------|
| 科目「保健」 | 1学年性(AIDS)教育集中学習 | 自作テキスト チームティーチング |
| 関連教科 | 1・2年選択美術(平成19年度まで) | 夏休み課題 AIDS予防啓発ポスター |
| 学年分掌 | 2学年性教育講座 | 男女別 専門家による実践的講義 |
| 生徒会 | 保健委員会等 | 文化祭での発表・集中学習・性教育講座 |

表1 実施内容

の生徒の主体的参加による学びを目指した授業と、最終の授業は教科担当者と養護教諭のティー

ムティーチングによる「体験から学ぶ」というテーマでの「Living Together Our Stories (ぶれいす東京)」を使ったグループワークを行っています。

2年生は次に示す性教育講座の目的にあるように、主目的を行動に起因する問題に対応できる力を培うことにおき、5年前からは男女別に実施しています。

2年生教育講座(目的)

- 1年次の性教育集中学習を基盤にさらに現実的実践的内容を学ぶ
- 性の問題を自分の問題として捉えられるように、より身近で具体的な課題設定をし、性教育講座の教育効果を高める

テーマ 「愛することって……」

内容 思春期の心と性 愛すること 性感染症／HIV・AIDS

男子／女子の性の問題 性行動のリスクを防ぐ方法等

講師 男子 (社)地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター 岩室 紳也先生
女子 養護教諭 阿部真理子

<生徒の感想>

(男子) ある程度の知識はあったけど知識がなかったことや浅かったことが、わかりやすい話でしっかりと理解できた。関心を持ったことは女子のことです。相手の事をしっかりと理解しなきゃいけないことを知って、関係の大切さを学べた。

(女子) 今まで性教育は何回か受けたことがあったけど、こんなに身近な問題だと感じたのは初めてでした。性器のことなどもよくわかったけど、一番心に残ったのはやっぱりエイズのことです。DVDを見てそんなに遠い問題ではないと気付いたし、何かと気をつけなければならないと思いました。

3 さいごに

本校の実践に関しての検証はこれからの課題ですが、卒業生の「あんなにちゃんと性教育を受けたのは自分たちだけだったみたい」「役に立っているよ」「自分の研究テーマにしたので資料が欲しい」等々の意見に、生徒の心に何らかのものが残っているという実感を持ちます。性教育推進が困難な理由として「時間の確保」を指適されるこ

とがよくありますが、本校も例外ではありません。今後も生徒の状況を把握し、職員全体の共通理解という基盤の上で、「保健」の授業と保健指導を中心に学校教育全体を通して指導していくという現行の取組をさらに実効性あるものにしていきたいと考えています。

授業風景

1. 1年生「保健」体験者から学ぶ

3クラス合同で視聴覚室にて実施、教科担当者と養護教諭のチームティーチング。

- ★アイスブレイキング
感染ゲーム
- ★DVD「ミズホとサトシ」
- ★HIV/AIDSの現状・最新情報
- ★リーディングワーク(手記リーディング)
- ★HIV女性感染者の手記「恋に仕事にHIVと生きる」
- ★グループディスカッション
「もし、自分だったら……」を考える
- ★グループ発表



2. 2年生性教育講座 男子

視聴覚室にて、教員も含めて全員男性の中での講義。真剣且つ楽しい雰囲気の授業で、90分があっという間に過ぎました。



全国大会・ブロック大会 (平成21年8月21日開催分まで) 主催者報告

平成21年度全国養護教諭研究大会 (岐阜県) 「生きる力をはぐくむ健康教育の推進と養護教諭の役割」 ～主体的に生活を改善する子どもを目指して～

大会の概要

第1日目 (8月20日) 全体会・企画展

開会式

記念講演

演題

「ちょっと気になる子への理解と支援
～一人ひとりの困り感に向き合う～」

講師 鳥取大学教授 小枝 達也

基調講演

演題「学校保健法の改正等から見る
養護教諭の役割」

講師 文部科学省スポーツ・青少年局
学校健康教育課健康教育調査官
采女智津江

シンポジウム

テーマ「学校保健活動の中核を担う
養護教諭の役割」

コーディネーター

東京大学大学院教授 衛藤 隆

シンポジスト

群馬県高崎市教育センター指導員

長井 久子

鳥取県鳥取市立福部小学校校長

奥村 一成

東京都渋谷区 近藤医院院長(学校医)

近藤 太郎

岐阜県可児市立東明小学校養護教諭

小出 典子

第2日目 (8月21日)

課題別研究協議会 (9課題)

今回、30回の節目を迎える本大会は、8月20日(木)・21日(金)の両日に、全国各地から約1500人の養護教諭及び学校保健関係者の皆様をお迎えして、岐阜市の長良川国際会議場で開催いたしました。

「生きる力をはぐくむ健康教育の推進と養護教諭の役割」～主体的に生活を改善する子どもを目指して～をテーマに、今年度から施行された学校保健安全法の趣旨も踏まえて、学校保健を推進していく上での養護教諭の役割について研究を深めました。

第1日目の記念講演においては、飛騨市古川町出身の鳥取大学小枝達也教授に、保健室によく来る「ちょっと気になる子」の対応の仕方を学びました。午後は、采女智津江健康教育調査官から、中教審答申の特徴、学校保健安全法から見る、学校保健のあり方や養護教諭の役割について講演をいただきました。シンポジウムでは、「学校保健活動の中核を担う養護教諭の役割」をテーマに討論が行われ、これからの養護教諭の役割について知識を深めることができました。

1日目の企画展においては、岐阜県が誇る全国初の「学校看護婦」広瀬ます先生のご功績と、6つのコーナーを開設し、県内の養護教諭が子どもの目線に立って作成した保健指導の教材や、これまで積み上げてきた研究の成果を展示しました。

第2日目の課題別研究協議会は、9課題に別れ、3名が実践研究を発表するとともに研究協議を行いました。新型インフルエンザの対策としての健康観察のあり方や危機管理の体制づくり等、活発な意見交流がなされ、新学期からの健康課題の対応に関して考える場となりました。その後、講師の先生から、最新の情報とともに、学習指導要領・学校保健安全法に沿った講義をお話いただきました。

大会を通して、養護教諭の役割は、保健室の機能を生かし、人と人をつなげ、学校保健を広げることだと確認することができました。



第52回全国学校保健主事研究協議会 千葉大会

全国学校保健主事会

学校保健活動に携わる多くの方々からのご支援、ご協力をいただき、第52回全国学校保健主事研究協議会を開催しました。森田健作知事で話題の千葉県千葉市で平成21年8月6日・7日の2日間の日程で、全国各地より保健主事、および学校保健関係者300人が集まりました。

大会当日の開会行事では、文部科学省、千葉県小学校長会、千葉県中学校長会、千葉県高等学校長会、千葉県医師会、千葉県歯科医師会、千葉県薬剤師会の皆

様のご臨席を賜り盛大にとり行う事ができました。開会行事の中で、「学校保健功労者表彰」を行い、古塚幸次先生(近畿 兵庫県 元全国理事)、大竹始先生(東北 福島県)以上2名を表彰しました。受賞された先生方に敬意を表します。

引き続き、文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課教科調査官の森良一先生による基調講和「学校保健の現状と保健主事」と題して講話が行われました。平成20年1月17日の中央教育審議会「子どもの心

身の健康を守り、安全・安心を確保するために学校全体としての取組を進めるための方策について」(答申)の解説をいただき、保健主事として、学校保健を推進するための効果的なマネジメント能力を身に付け、学校における健康推進に向けて力を発揮することを期待するとまとめていただきました。

また、元新体操オリンピック選手の山崎浩子氏による「折れない心」と題して記念講演が行われ、自分自身の今までの選手生活や今の子どもたちに経験させてほしい精神力などの講演をいただきました。

アトラクションでは、千葉女子高等学校のオーケストラ部の演奏で会場は癒しの音楽で満たされました。

2日目は3名の先生方による研究発表と課題別研究協議を行いました。

地域・保護者と連携した「いのちの授業」

鎌ヶ谷市東部小学校 坂入 実先生
須田 良子先生

「自主的な健康生活ができる生徒の育成」

栃木県真岡西中学校 高松 伸子先生

「生徒とともに語り合う! 心・体・性」

秋田県立雄物川高等学校 柴田 明子先生

各課題別研究協議会では、活発な意見交換が行われ、今後の学校保健活動の課題解決に向けて大きな成果をあげることができました。

結びに、千葉県教育委員会、千葉市教育委員会、千葉県保健主事会のご協力のもと無事に開催できたことを心から感謝申し上げます。

第9回 九州地区健康教育研究大会

【シンポジウム】

<テーマ>

「生涯にわたって、心豊かにたくましく生きる力をはぐくむ健康教育推進」

～学校における家庭・地域社会及び関係機関との連携の在り方について考える～

○コーディネーター

佐賀大学文化教育学部附属小学校副校長 松田 美恵

○シンポジスト

社団法人佐賀県医師会常任理事 徳永 剛

唐津市立神集鳥小学校校長 瀬戸口 裕

佐賀大学文化教育学部附属特別支援学校養護教諭 大家さとみ

佐賀市立新栄小学校栄養教諭 百武 裕美

スクールガードリーダー 志久 正敏

【特別講演】

講師 日本尊厳死協会評議員

日本尊厳死協会さが会長 太田 善郎

演題 「命の尊厳」

平成21年8月10・11日の2日間、九州各県から健康教育関係者1,000余名の参加を得て、第9回九州地区健康教育研究大会が佐賀市において開催された。



シンポジウムでは、子どもを心豊かにたくましく生きる力を育成するため、それぞれの立場からの発表があり、フロアからの意見も交えて熱心に協議が行われた。

特別講演では、日本尊厳死協会さが会長の太田氏より命の尊厳について話され、命についてともに考える時間となった。

分科会では、9分科会にわかれ、研究発表と課題別研究協議をおこなった。各分科会では活発な意見交換が行われ、今後の学校保健の課題解決に向けて大きな成果をあげることができた。

第48回 北陸三県学校保健研究協議会

生涯を通じて、心豊かにたくましく 生きる力をはぐくむ健康教育の推進

～心身の健康づくりに自ら取り組む子どもの育成～

大会概要

開会式

特別講演

演題 『子どもたちの心に響きく生活化>への意欲を引き出す「生活習慣病の予防」の教材づくり』
～NHK映像教材(血液サラサラ健康生活)の製作現場から～

講師 大分大学教育福祉科学部教授 住田 実

課題別研究協議会

7分科会に分かれて研究協議会

第48回北陸三県学校保健研究協議会が、平成21年8月11日(火)福井県福井市において440余名の参加を得て開催されました。

午前中は、開会式に続いて住田実氏の講演が行われ、健康教材づくりのエピソードを通して、子どもたちが「視覚的に生きいきとイメージしながら学ぶ」映像教材づくりの取組みについて話されました。

午後は、「歯・口の健康」、「性教育」、「心の健康」、「望ましい生活習慣」、「安全教育」、「特別支援教育の保健活動」、「喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育」の7課題に分かれて研究協議会が行われました。各課題では2人の先生方からの提案発表の後、活発な意見交換や



協議が行われ、講師から適切な助言をいただきました。また、それぞれの講師から講話をいただき、大変有意義な大会となりました。

第60回 関東甲信越静学校保健大会

生涯を通じ、豊かな心を持ち、心身ともに
健やかな子どもの育成を目指して

日時：平成21年8月20日(木) 9:30～16:00
会場：新潟県民会館、新潟市民芸術文化会館
主催：新潟県教育委員会、新潟市教育委員会、新潟県
学校保健会、(財)日本学校保健会
後援：文部科学省、関東甲信越静各都県教育委員会、
関東甲信越静各都県学校保健会 等
参加：約950名
対象：幼稚園・小・中・高・特別支援学校の教職員、
学校医、学校歯科医、学校薬剤師、教育委員会
職員、学校保健会関係職員

平成21年8月20日(木)、新潟市において第60回関東甲信越静学校保健大会が、約950名の参加を得て盛大に開催された。

午前10時30分から新潟県民会館において、(財)日本学校保健会をはじめとする来賓各位をお迎えし、開会式が執り行われた。その後、京都大学医学部 精神医学教室 院内講師 岡田 俊氏による「発達障害のあ

る児童生徒の理解と支援」を演題とする特別講演が行われた。発達障害のある児童生徒の特性やその保護者の抱える悩みをどのように捉え、どのように支援していったらよいかについて、大変分かりやすく、示唆に富む講演であった。

12時30分より11都県代表者会議が行われ、平成22年度開催の茨城県からその概要について説明があった。また、平成23年度は神奈川県での開催が決定した。

午後からは「学校経営と学校保健」、「健康教育」、「性教育・エイズ教育及び薬物乱用防止教育」、「学校歯科保健」、「学校環境と安全教育」の5つのテーマに分かれて班別研究協議会が開催され、各都県からの提案に対し、活発な議論や意見交換ができ、大変有意義な大会となった。

新潟県としては、昨年度の全国学校保健研究大会に続いて、2年連続での大規模な学校保健大会の開催となった。前年度の経験と他都県からの大きな励ましが、今大会を成功に導いたことに感謝したい。



2月4日は「世界対がんデー」です。

The World Cancer Day

世界対がんデー UICC公開シンポジウム

がん予防は子どもから

日時：2010年2月4日(木) 午後2時～5時

場所：がん研究振興財団・国際研究交流会館ホール
(東京都中央区築地5-1-1 国立がんセンター内)

講 演

「感染症とがん—ワクチンで予防する子宮頸がんと肝がん」 田中英夫 (愛知県がんセンター)

「たばこがん—子どもの未来の健康を守れ」 中村正和 (大阪府健康科学センター)

「子どもの生活習慣とがん予防」 原田正平 (国立成育医療センター)

「日本の学校教育にみる がん予防」 衛藤 隆 (東京大学)

「世界の学校教育にみる がん予防」 鬼頭英明 (兵庫教育大学)

「子どもが親を変える—スリランカ10年の経験から」 小林 博 (札幌がんセミナー)

パネルディスカッション

「何故、がん予防は子どもからか？」 座長：北川知行 (UICC日本委員会、癌研究所)、別所文雄 (杏林大学)

申し込み方法

「日本対がん協会・世界対がんデー公開シンポジウム係」宛に、以下のいずれかの方法でお申し込みください。

- ① メール：office@jcancer.jp (メールで返信します。お名前をお書きください)
- ② FAX：03-5222-6700 (FAXで返信します。FAX番号とお名前をお書きください)
- ③ 往復はがき：(返信用はがきに、住所、氏名を書き、下記住所にお申し込みください)

〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-5-1 マリオン13階

日本対がん協会・世界対がんデー公開シンポジウム係 TEL 03-5218-4771

参加費無料

【主催】国際対がん連合 (UICC) 日本委員会

【共催】財団法人 日本対がん協会

お知らせ

「治験」がわかりやすく学べる！

啓発漫画「治験って知ってる？」を無償提供

社団法人日本医師会治験促進センター

くすり教育の副教材にも活用



くすりができるまでには、「治験(ちけん)」という必要不可欠な過程があるのをご存知ですか？

治験とは、「薬の候補物質」を厚生労働省から「薬」として承認を受けるために、実際に人に対して効き目(有効性)や副作用(安全性)を確認する過程であり、健康な人や患者さんの協力が必要です。

対して効き目(有効性)や副作用(安全性)を確認する過程であり、健康な人や患者さんの協力が必要です。

(社)日本医師会治験促進センターでは、文部科学省及び厚生労働省による治験活性化の取組の1つとして、子どもたちにも親しみやすい漫画「治験って知ってる？」を制作しました。

本誌は、「治験とは何なのか」、「なぜ治験が必要なのか」ということを、小学生の男の子が医師



マンガ「治験って知ってる？」のワンシーン

との会話を通して知っていくストーリーです。32ページ構成で、後半3ページにはご家族とも一緒に学習できる具体的な治験の手順や薬に対する体のしくみなども掲載しています。子どもたちと「治験」を考える足がかりとして、学校での副教材や啓発活動などでご活用ください。

【冊子のご入手方法】

ご希望の学校には必要部数をご無償で提供いたします。下記のURLより、お申し込みください。

「治験って知ってる？」感想文コンクールを実施します

【感想文コンクール概要】

- ◆募集対象：国公立の小学校・中学校・中等教育学校・高等学校および特別支援学校
- ◆募集内容：「治験って知ってる？」の感想文(1人1点 400字詰原稿用紙3枚以内)
- ◆応募締切：平成22年1月15日(金)
- ◆その他：応募者全員に記念品を贈呈します。応募作品は、(社)日本医師会において審査し選定を行い、受賞者には表彰状と副賞を贈呈します。
応募方法などコンクールに関する詳細は、下記URLをご確認ください。

「治験って知ってる？」申込み・

感想文コンクールについて

<http://www.jmacct.med.or.jp/>の「マンガで学べる教材 くすりの誕生」のページをご確認下さい。

(URL：<https://dbcentre2.jmacct.med.or.jp/manga/information.html>)

【お問い合わせ先】

社団法人日本医師会治験促進センター
研究事業部 啓発担当
〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-8
文京グリーンコート17階
TEL：03-5319-3781 FAX：03-5319-3790
e-mail：keihatsu@jmacct.med.or.jp



楽しく身に付く、正しい手洗い！

「洗っているのに」「洗えていない」……そんな子どもたちに
“ウイルスキャラクター”や歌にのせての手洗いで指導効果の向上を……。

手洗い指導の教材に工夫を



町田市立町田第一小学校
主任養護教諭
植木 順子先生

植木 季節性に加え、新型インフルエンザの大流行が危惧されています。そこで本校ではいち早く、全校児童に対して感染症予防の徹底指導を実施してきました。予防の決め手は「手洗い」「うがい」と「マスクの着用」。ウイルスの飛沫感染と接触感染の理解を深めるために、ウイルスをキャラクター化した指し棒を考案したり、子どもが親しみやすく

楽しめる歌に、手洗い方法の歌詞をのせての手洗い指導なども試みました。ことに力を入れたのは正しい手洗いのやり方。児童たちは入学当初の給食時に指導を受けて以来、学ぶチャンスがあまり無かったからです。

小島 私も手洗い指導に歌を活用する有効性に注目しています。きちんとした手洗いを子どもに教えるには、時間を伝えるだけではなく、洗い残しがないように、洗う部位を明確にしてあげることが大切です。特に、手の平・甲・指の間・指の先・爪・親指から手首までがポイントです。ここを一通り洗うと15～



30秒程度の時間はかかります。そこで「時間と部位を同時担保」する意図から、ポーズ付きの「あわあわ手あらいのうた」をつくってみました。

植木 そうやって、楽しみながらおぼえたことは身に付きますよね。小島さん発案の「あわあわ手あらいのうた」のDVDを低学年の各クラス担任に7月に配布したところ、先生からは「児童たちが進んで手を洗うようになった」などの声が挙がりました。手洗い啓発教材として積極的に活用しています。手洗いの効果といえば、0-157が大流行した年に児童への手洗い指導を徹底したところ、翌年のぎょう虫検査で陽性の子がゼロという結果が出ました。あの時、改めて手洗いの効果を実感したものです。

小島 アメリカCDC（米疾病センター）の調査によると、正しい手洗いを身に付けている小学生の欠席日数は年間2.42日なのに対して、身に付けていない子のそれは3.02日。手洗いと健康を関連付けるデータだと思えます。

植木 これからの季節、さらに指導に工夫を凝らし、実効を上げたいと思っています。そのためには学校と家庭との連携が大切。その意味で、次のステップでは、保護者向けの予防講座の開設が必要かもしれませんね。



花王株式会社
生活者研究センター
主任研究員
おじま
小島みゆきさん

はじめよう! **楽しくきちんと、手洗い習慣!**

バイオレママの「あわあわ手あらいのうた」で洗ってみてね!

バイオレママのあわあわ手あらいのうた

おねがい、おねがい
カメさん、カメさん
あのさんかくの
お山のうえで
おおかみ
おつとつとつと
おつとつとつと
いそいでバイクを
ぶるんうんてん
さきいつぱつ
つかまえた!
ありがとうカメさん
みんな
ごちそうです
手をあらいますよ
タオルでふいたら
いただきます

薬用 殺菌・消毒

フルーツの香り

泡ハンドソープ

この手洗い歌はホームページでも聴けるよ!
www.bioremama.com

JASRAC 出 0912226-901

1 おねがいのポーズ
2 カメのポーズ
3 お山のポーズ
4 おおかみのポーズ
5 バイクのポーズ
6 つかまえた!のポーズ

じゅんばんにポーズをつくってゴシゴシすると、手あらいができるよ!

手を洗うとき、水は大切に使うね。

虎ノ門 (100)

ワクチン後進国 日本 新型インフルエンザとワクチン

夏休み明けを待っていたかのように新型インフルエンザの流行のニュースが流れている。特に幼児から若年者の感染が多く、保育園・幼稚園・学校・学童クラブなど集団で生活している年代の感染が多い。各地で学級閉鎖や学校閉鎖などの措置を講じ、蔓延を防いでいる。感染症として手洗いやうがい、咳エチケットや換気などの感染予防対策と有熱者に対する指導など地区の教育委員会は各地域で保健所と連携した対応を行っている。が、多くの国民が免疫を持たない新型インフルエンザ対策はその一次予防としてのワクチン接種が重要な意義を持つ。国は新型インフルエンザワクチン約6千万人分の確保を目指したが、国内で生産される見込みは少なければ1800万分で、不足は輸入する方針である。その背景には、日本のワクチン業界が世界に比べて大きく後退した歴史がある。日本では予防接種の副作用をめぐる裁判で1980年代から国の責任を認める判決が相

次ぎ、1994年には予防接種法が改正され、インフルエンザの集団接種が廃止、義務接種から勧奨接種へと変わった。このため一時は1700万本生産されていた季節型インフルエンザワクチンは1994年にはなんと30万本にまで下落した。孵化に近い鶏卵にウイルスをうえて増やす従来の製法であり、有精卵の確保も難しい状況で急に生産量を増やすことができない。一方、海外では新技術が進み、免疫力を高める新しい製法で生産量を大幅に伸ばしている。日本では1990年以降、国産のワクチン開発が遅れたばかりでなく、輸入ワクチンの承認もわずか二種にとどまり、世界水準にはるかに及ばないわが国の予防接種行政の現状がある。通常であれば、数年以上かかる承認手続きをとらずに輸入される今回の新型インフルエンザワクチンは異例中の異例である。ワクチンで予防できる病気が数多くあるのにもかかわらず、新型インフルエンザだけ特別扱いしても意味がない。新型インフルエンザを契機として、感染症対策は予防接種を含めて根本的に見直す必要がある。

(編集委員 山田 正興)

編 集 後 記

この10月、都市部を中心に新型インフルエンザの流行注意報が発令されました。

一般的なインフルエンザの予防には、「うつらない」ための「手洗い」や「うがい」、「うつされない」ためのマスクの着用がよくいわれていますが、流行拡大の面では「うつさない」ということも大事な予防です。この時期、電車やバスの中などで無防備に咳やくしゃみをする人をよくみかけます。「うつさない」ためには「咳エチケット」が推奨されていますが、これは人

の生活の上での大切なマナーでもあります。そこで子どものうちからの意識づけとして「うつさない」ためのマスクの着用、咳やくしゃみをする時の配慮などの指導が望まれているところです。

そしてなによりも大事なことは、病気に罹りにくい体、罹っても重症化しにくい体づくりです。そのため健康教育、生活習慣や食生活の正しい知識と実践も予防という意味でとても大切な保健指導のひとつです。

(編集委員長 雪下 國男)



厚生労働省科学研究費補助金事業 (財) 日本学校保健会協力

主任研究者: 国立大学法人 東京医科歯科大学 医歯学総合研究科 皮膚科学分野 教授 横関博雄

多汗症実態調査アンケートのお願い

多汗症(たかんしょう)とは、体温の調節に必要な範囲を超えて、発汗が異常に増加することを指す症状です。多汗症について、本邦では、まだ本格的な疫学調査もなく発症頻度も明らかになっていません。思春期に発症することが多く、悩みを抱えている子供もかなり存在すると思われます。そこで今回、発症頻度を正確に把握する事で、診断、治療の確立するために、多汗症の実態調査を致したいと希望しております。

お忙しいところ恐縮ですが、アンケート調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

募集期間: 2009年11月1日(日)~11月30日(月)

実施先: 先着100校(小・中・高)

学校保健推進奨励経費として
1校図書券3,000円を進呈いたします

ご協力いただける施設は、申込書に記入の上 Fax お願いいたします。アンケート用紙必要部数を送付いたします。この調査は多汗症の実態を把握するもので、多汗症の子どものみを対象に行うものではありません。何人でも結構ですが、クラス単位、グループ単位などでの実施をお願い致します。

お口の要人 **LOTTE** **むし歯のない社会へ。ロッテ キシリトール ネオ**

もっとおいしく、歯を丈夫で健康に。
キシリトールの世界が広がりました。
大切な歯のために、毎日続けてください。
キシリトール習慣!



厚生労働省許可 保健機能食品(特定保健用食品) (財)日本学校保健会推薦 (社)日本学校歯科医会推薦

XYLITOL

www.lotte.co.jp ガムをかんだ後は紙に包んでくずかごへ。



Otsuka

のどをうるおすだけの飲料ではありません。

(財)日本学校保健会推薦

抽選で20校様へポカリスエット200mlペットボトル1ケースを無料進呈します。

学校名、住所、TEL、ご担当者名、ポカリスエットについてのご意見や活用方法を記入の上、下記の『ポカリスエットプレゼント』宛てまで1年以内にご応募ください。当選発表後は発送をもって代えさせていただきます。

【応募締切】平成21年12月末日まで
【お申込先】〒102-0075 東京都千代田区三番町24番地 林三番町ビル4F 健康と料理社「ポカリスエットプレゼント係」



財団法人日本学校保健会推薦 CPR・AED学習キット ミニアンナー **MiniAnne** **Laerdal** helping save lives

あなたにしかできないことがあります。

www.CPR-AED.jp 検 索

◎学校法人教育委員会専用注文書はこちらからダウンロードできます。




Just Evidence Shoes

現在、多くの子ども達が足に合わない靴を履き、足にトラブルを抱えている事がわかりました。JESは、足計測データを分析し、少しでも多くの子どもにフィットする「靴型」の設計をはじめ、幅の選べる学校シューズなどの研究を進め、児童生徒の「足を育むJESシューズ」の開発と、「足元からの健康教育“足育”」活動を推進しています。

足と地球の健康を考えよう **JES** 日本教育シューズ協議会

Wide 中学生の約 15% Middle 中学生の約 71% Narrow 中学生の約 13%

〒101-0032 東京都千代田区若本町3-3-4 TEL.03-3862-8684 FAX.03-3862-8632